

森林の育成(基礎コースB「造林・育林関連」)研修 研修生が各試験地を見て学ぶ!

平成30年9月11日～12日の2日間の日程で、平成30年度局研修 森林の育成(基礎コースB「造林・育林関連」後期)の研修生17名を迎えて、森林技術・支援センターの各試験地において現地研修が実施されました。

☆ エリートツリーの植栽試験

☆ コウヨウザン植栽実証試験

十王市小松沢国有林において、第二世代精英樹(エリートツリー)の交配家系をコンテナ苗で植栽した箇所並びに、コウヨウザン実生・挿し木コンテナ苗の植栽箇所において、質疑及び植栽苗の検証を行いました。



☆ 経年変化を考慮したコンテナ苗の成長特性説明試験

☆ エリートツリーの挿し木品種化試験

城里町梅香沢国有林において、一貫作業システムを活用した地拵及び春～秋植栽のコンテナ苗・普通苗の追跡調査箇所並びにエリートツリー候補木の挿し木クローン苗の植栽試験地の活着と成長状況を確認しました。



☆ 様々な苗サイズに適応した下刈り技術の開発試験

桜川市天岳良国有林において、無下刈り区域の草木類と植栽木との競合状況を現地で確認しつつ、下刈りのあり方について検討しました。



☆ 冬季下刈りによる植栽木の成長等の調査について

石岡市横道国有林にある筑波山複層林試験地内の長期育成循環施業内で平成17年から5年間実施された夏下刈り、冬下刈り試験地において、植栽木の現在の林況等を確認し、冬季下刈りのあり方や今後の保育作業について検討しました。

2日間に及ぶ研修お疲れ様でした。皆さん熱心に耳を傾けメモをとる姿が大変頼もしかったです。今後、普段とは違った角度から山を見ている自分がいることでしょう。